

2017年度 アジア研究センター活動報告

2017年4月～2017年9月

アジア研究センター主催によるシンポジウム

●シンポジウムテーマ：

「東アジアビジネスの最新動向－中国・ASEAN・日本－」

◆2017年12月5日(火)

第一部 13:00～14:30

司会者：秋山 憲治

(神奈川大学アジア研究センター所長、神奈川大学経済学部教授)

報告者：石原 伸志

(神奈川大学経済学部非常勤講師、東海大学海洋学部客員教授)

報告者：範 文勝

(常熱グリーン智能製造技術イノベーションセンター理事長、

常熱自動車産産園区管理公司 社長)

第二部 14:40～16:10

司会者：田中 則仁

(神奈川大学入試センター所長、神奈川大学経営学部教授)

報告者：魚住 和宏

(神奈川大学経済学部非常勤講師、SCMソリューションデザイン代表)

報告者：グエン ドウック ラップ (広島修道大学商学部教授)

共同研究グループ主催によるワークショップ

●研究グループ：「アジア・オセアニア地域における自然災害の社会的影響に関する調査研究」

◆2017年6月30日(金)

「アジア地域における防災技術に関する国際ワークショップ」

報告者：台湾国立科学大学(教員・大学生)

●研究グループ：「アジア地域におけるサプライチェーンリスクマネジメントに関する研究」

◆2017年11月22日(水)

「アジアにおけるSCNと価値創造」

報告者：北京交通大学－神奈川大学

共同研究グループ主催による公開研究会

●研究グループ：「東南アジアから西アジアにおける民主化と経済発展」

◆2017年6月24日(土)

報告：「描かれた外輪船と太平洋認識

－聖徳記念絵画館所属岩倉大使出図によせて」

報告者：藤村 是清(客員研究員 神奈川大学人間科学部非常勤講師)

●研究グループ：「東アジアにおける安全保障秩序の変動」

◆2017年9月19日(火)

報告1：「冷戦終結後インドの対外戦略」

報告者：溜和敏(客員研究員 高知県立大学文化学部講師)

報告2：第二の外交革命？「リバランス」後の中国外交と「新同盟論」

報告者：林載桓(客員研究員 青山学院大学国際政治経済学部准教授)

●研究グループ：「東南アジアから西アジアにおける民主化と経済発展」

◆2017年11月25日(土)

報告1：「中国の「一帯一路」構想をどう捉えるか

－グローバル化の中で考える－」

報告者：平川 均(客員研究員 神奈川大学経済学部非常勤講師、

国士舘大学21世紀アジア学部教授)

報告2：「IMF危機後の韓国型雇用政策がもたらした社会経済学的影響の考察

－少子高齢化の現象はなぜ改善されないのか－」

報告者：内橋 賢悟(客員研究員 神奈川大学経済学部非常勤講師)

共同研究グループによる出張

●研究グループ：「アジアの水に関する総合的研究」

《国外》

出張者：内藤 徹雄(客員研究員 経済学部非常勤講師)

出張先：台湾

日程：2017年9月4日(月)～9月7日(木)

目的：台湾国際学会および台湾企業訪問、台湾交流協会訪問

●研究グループ：「東アジアの国際経済・ビジネスの変遷と現状そして今後の展望」

《国内》

出張者：田中 則仁(所員 神奈川大学経営学部教授)

出張先：沖縄県庁商工労働部、那覇港総合物流センター他

日程：2017年10月6日(金)～10月8日(日)

目的：東アジアの国際経済拠点形成での沖縄県の戦略構想調査

《国外》

出張者：秋山 憲治(所員 経済学部教授)

出張先：台湾

日程：2017年9月4日(月)～9月7日(木)

目的：台湾国際学会および台湾企業訪問、台湾交流協会訪問

●研究グループ：「東アジアにおける東西文明の出会い或いは衝突」

《国内》

出張者：中林 広一(所員 神奈川大学外国語学部准教授)

出張先：北海道大学図書館、北海道立図書館、北海道立文書館

日程：2017年9月27日(水)～9月28日(木)

目的：近代東アジアにおける海産物の流通・消費に関わる資料収集

●研究グループ：「アジア地域におけるサプライチェーンリスクマネジメントに関する研究」

《国内》

出張者：中島 健一(所員 神奈川大学工学部教授)

出張先：Union of Japanese and Engineers (JUSE)

日程：2017年9月7日(木)

目的：The 23rd International Symposium on Quality Function Deployment 研究発表

《国外》

出張者：佐藤 公俊(神奈川大学工学部特別助教)

出張先：M Hotel. Gaoxin District, Chengdu, China

日程：2017年8月1日(火)～8月4日(金)

目的：International Conference on industry 4.0 and production economics での研究発表